

〈一般公開用概要〉

全体を閲覧したい人や詳しく知りたい方は下記まで
成瀬 / takanaruse@gmail.com

第3回 レコセラを使った サービス可視化分析の集い

東京大学大学院
成瀬 昂

[日本語] <https://takanaruse.com/>
[英語] <https://takanaruse.com/en/>





ディスカッションメモ(一部)

欠席は大事な問題

・欠席の選択肢:

無理なく長期にわたって通いやすい(長期通所で休みにくいプレッシャーが少ない)雰囲気も作る必要がある。

・リハビリ活動の効果がでて、利用者が施設外の活動を発見する(いわゆる「卒業」につながる)欠席もあります。

「欠席」に関する現場の考え・普段の工夫

・帰り際の「あー楽しかった」などの利用者の声を、次の来所のバロメータとして参考にしたりします。

・稼働率は常に把握していますが、このような分析はしたことがなかったので、さらに掘り下げていただきたい。

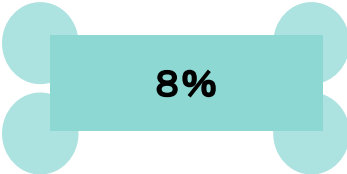
稼働率上昇と利用者さんへのメリットと、両方の視点から、きちんと考えて参考にしたいです。

・都心と郊外での欠席理由にも差があるかもしれません。

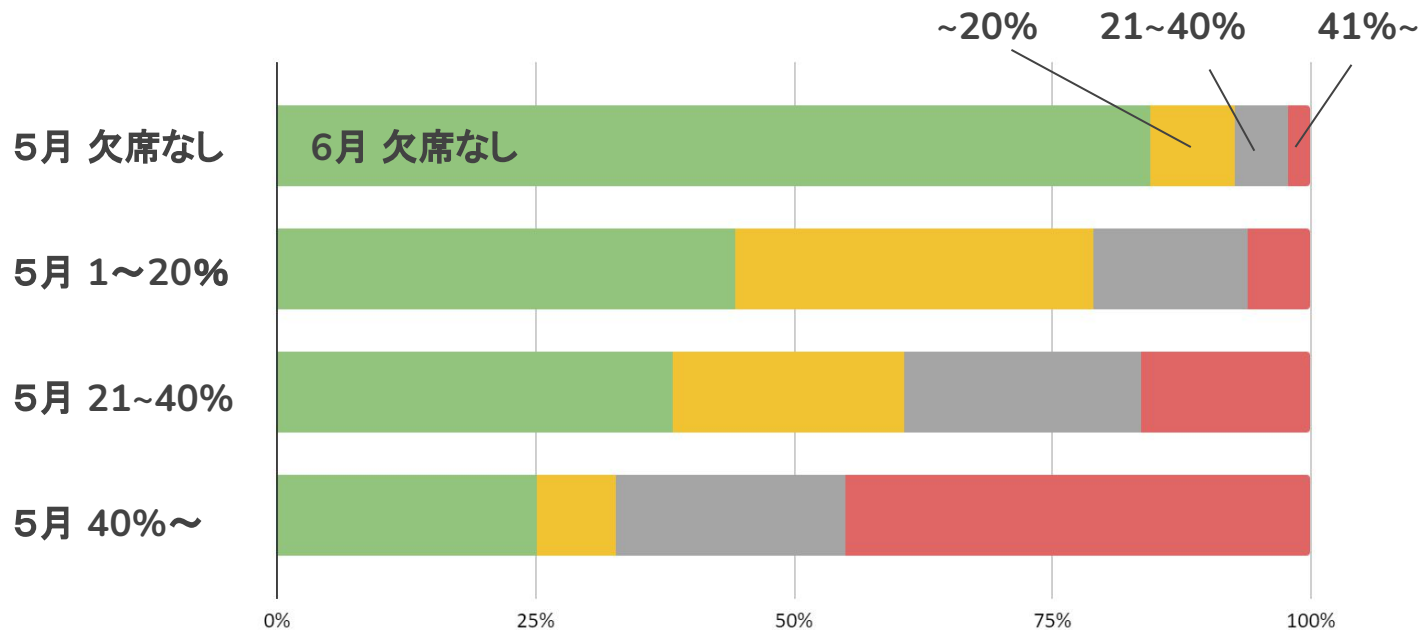
・利用者に欠席意志があっても、家族への確認や本人の状態観察を行う等、丁寧に対応するようにしています。

〈欠席21%超〉が2か月続いた人は全体の8%

■利用者各人について、欠席日数／予定日数 * 100 = 欠席率

		6月欠席率				Total
		0%	0%<, ≤20%	20%<, ≤40%	40%<	
5月 欠 席 率	0%					
	0%<, ≤20%					
	20%<, ≤40%					
	40%<					
	Total					

5月の欠席は6月の欠席と関連しそう



事業所の稼働ロス率は3～17%の幅

